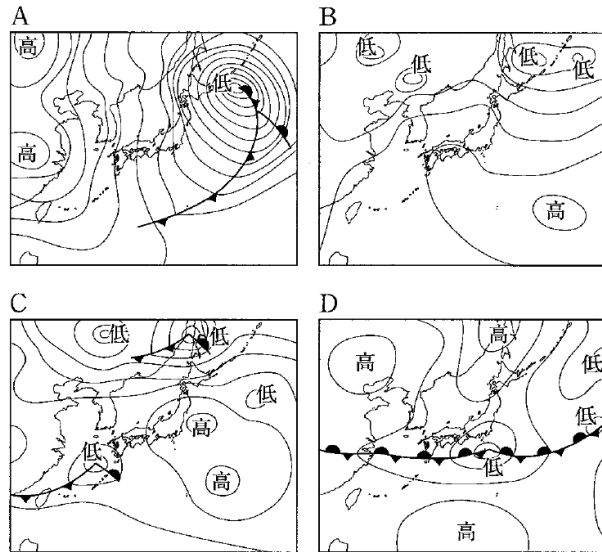


3 右の図のA～Dは、日本の春、つゆ（梅雨）、夏、冬のいずれかの典型的な天気図である。これについて次の問いに答えなさい。



(1) ① Aの天気図はどの時期のものか。

最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。また、② Aの天気図が見られる時期に、ユーラシア大陸上で発達している気団を何気団というか。名称を答えなさい。

ア 春 イ つゆ（梅雨）

ウ 夏 エ 冬

(2) Bの天気図となる時期にふく季節風の説明として最も適当なものはどれか。次から1つ選び、記号で答えなさい。

ア 陸の方が海よりも温度が高くなり、あたためられた空気が上昇するため、大陸から海洋へ向かって北西の季節風がふく。

イ 陸の方が海よりも温度が高くなり、あたためられた空気が上昇するため、海洋から大陸へ向かって南東の季節風がふく。

ウ 海の方が陸よりも温度が高くなり、あたためられた空気が上昇するため、大陸から海洋へ向かって北西の季節風がふく。

エ 海の方が陸よりも温度が高くなり、あたためられた空気が上昇するため、海洋から大陸へ向かって南東の季節風がふく。

(3) Cの天気図となる時期は、日本付近では天気が周期的に変化しやすい。これは、日本付近の上空にふく風によって、高気圧と低気圧が交互に通過するためである。日本付近の上空にふくこの風を何というか。名称を答えなさい。

(4) 次の文は、Dの天気図に見られる停滞前線が発生する原因をまとめたものである。文中の①、②にあてはまる語句として最も適当なものはどれか。あとからそれぞれ1つずつ選び、記号で答えなさい。

日本列島の北のオホーツク海付近にある①気団と南の太平洋上にある②気団がぶつかり合い、それぞれの気団の勢力がほぼ同じであるため、停滞前線が発生する。

ア あたたかく乾燥した イ あたたかく湿った

ウ 冷たく乾燥した エ 冷たく湿った

- (1) 冬はシベリア高気圧が発達し、Aのように南北方向の等圧線がせまい間隔で並んだ、西高東低の気圧配置（西側の気圧が高く、東側の気圧が低い状態）になる。
- (2) 夏は、Bのように太平洋高気圧が発達する。また、陸は海よりも温度が高くなるので、空気が上昇して気圧が低くなるユーラシア大陸に向かって、南東の季節風がふく。
- (3) 春や秋は、温帯低気圧と移動性高気圧が交互に通過するため、同じ天気が長くは続かない。また日本列島付近の天気は、偏西風の影響を受けて西から東へ変わることが多い。

	①	エ	11
(1)	②	シベリア	気団
(2)	イ	13	
(3)		偏西風	へんせいふう
(4)	①	エ	② イ
		15	